

令和 7 年度

COMPASS 発達支援センター高松 Jr

事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和 7 年 10 月 14 日

○事業所名	COMPASS発達支援センター高松Jr		
○保護者評価実施期間	2025年 7月1日 ～ 2025年 7月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 7月 1 日 ～ 2025年 7月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 7月 1 日 ～ 2025年 7月 31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	18	(回答数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 25日		

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有をおこなうことで、適切なアドバイスを受けることができる。	COMPASSでは保育所等訪問支援の意識を高めるため、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例やアプローチなど社内での定期的な勉強会を実施している。	引き続き事業所間のつながりを大切にし、勉強会や情報の共有・交換などをおこない職員の更なるスキルアップを目指す。
2	学校や園などいつでも連携が取れる事。	連絡を頂き直ぐに対応出来る様連絡先を一本化しています。	引き続き真摯な対応が行えるようにして参ります。
3	対象児について保護者様や、先生方と支援の方向性がしっかりと話し合っている事。	訪問時の気付きは早くお伝えできるように心がけています。保護者様には、報告書をお渡しする際に詳しく状況をお伝えし、今後を話し合っています。	訪問回数や訪問日時によって、様子をお伝えする期間が空いてしまいます。保護者様のお仕事時間や連絡が取り安い時間を伺いなおし早めの情報共有が行えるように行って参ります。 先生方とは振り返りを引き続き行って参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援管理責任者との連携が取りづらい。	児童発達支援管理責任者と訪問員が共有しづらい環境である	児童発達支援管理責任者も初回訪問以外にも経過観察として訪問に参加出来るように声かけを行いたい。 保護者様と会う機会も訪問員が中心に行っているが一緒に交流する機会も儲けたい。
2	新しい相談支援専門員との交流が薄い。	保育所等訪問だけの業務なので、相談支援専門員と話す機会が少ない環境である。	相談支援専門員会に参加し、顔つなぎを行っていきたい。 研修などで相談支援専門員との交流を深め新規取り入れに繋げるように心がけたい。
3			

